



第1学期を終えるにあたって

1年生の子どもたちが育ててきた朝顔が色とりどりに花開いています。

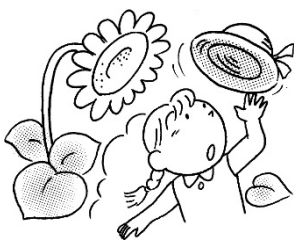
本日で令和元年度第一学期を無事に終了いたしました。この4ヶ月間、保護者、地域、関係諸団体の皆様に支えていただき、子どもたちが明るく落ち着いた気持ちで、学校生活を送ることができましたことに深く感謝申し上げます。



いよいよ子どもたちにとって楽しい夏休みが始まります。夏休みは、今までの学習や生活を見つめなおし、第二学期に備え、志を新たに準備する絶好の機会でもあります。この4月以来、子どもたちは毎日の学習やさまざまな行事を通して、それぞれに力を付けてきました。「鉄棒で逆上がりができた。」「手を挙げて発表するようになった。」「漢字をたくさん覚えた。」「水泳が好きになった。」など、一人一人が自信を深めています。本日、持ち帰った通知表を参考にいただき、お子様をよりよく伸ばすための話題と励ましの材料にしていいただければと思います。

江戸時代中期の政治家である新井白石が少年のころに父から説諭された「一粒の米」というお話があります。米を保管する入れ物から一粒の米を取っても、お米が減ったかどうかはすぐに分からない。けれども、1年、2年、そして3年と毎日一粒ずつ取っていくと減ったことが分かる。反対に一粒の米を加えていっても、増えたかどうかはすぐには分からない。けれども、1年、2年、3年と毎日一粒ずつ加えていくと、増えたことがはっきりと分かる。こつこつと努力を続けることの大切さを伝える内容です。期間は40日ほどですが、夏休みの過ごし方も同様です。家の手伝いをする、規則正しい生活に努める、苦手な学習を克服する、さまざまな種類の本を読むなど、自分で決めたことをこつこつと粘り強く継続して取り組むことができれば、必ず大きな成長へとつながります。継続できるものは、第二学期が始まってからも続けられるとさらにすばらしいと思います。

子どもたちが何よりも楽しみにしている夏休みですが、この時期、子どもの命に係わる事故や事件が毎日のように報道されています。4年前に本校で発生した交通死亡事故は、決して忘れてはならない記憶として今も私たちの心に残っています。改めてご冥福をお祈りしたいと思います。ご家庭におかれましては、学校からの資料もご活用いただき、夏休みの安全な過ごし方や命の大切さについて今一度お子様とお話しいただく時間をとっていただきますようお願いいたします。



明日から子どもたちの生活の場は、家庭や地域が中心となります。安全、安心で、楽しく充実した夏休みとなりますよう、引き続きご協力、ご支援をお願い申しあげ、第一学期終了のご挨拶とさせていただきます。

校長 藤原 佳弘
教職員 一同